

公益社団法人 奈良県診療放射線技師会 会報



鹿苑

ろくえん
苑 ニュース

No. 288

2023年3月10日発行

発行所：公益社団法人 奈良県診療放射線技師会 発行人：高谷 英明 編集人：高田 太輔
〒634-0076 奈良県橿原市兵部町2-9 フレガビル4階 TEL 0744-24-6270

巻頭言

組織関係及び公益事業に思うこと



公益社団法人 奈良県診療放射線技師会 組織委員長 辻村 恭平

早いもので新しい年・卯年を迎え、一ヶ月が過ぎました。会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

2019年12月に中国で初めて報告された「新型コロナウイルス感染症」はいまなお世界的な流行を見せていています。日本においても第8波が報告され奈良県でも新規感染者は引き続き高い水準で確認されておりまだ予断を許さない状況が続くと考えねばならないようです。しかしそのような現状において、日頃から本会の活動にご理解、ご協力いただき心からお礼申し上げるだいです。

さて、私が会務として任命された組織関係及び公益事業について3年間を振り返ってみたいと思います。言うまでもなく組織委員会としての活動は、「現地開催で成り立つ」というのが大前提でした。そのため活動の中止や延期という前例のない事態に見舞われました。この苦しい状況を打破するためには、どうすべきか。まさに組織委員と協働して新たな方向性を模索しました。その答えは会員の皆様ご承知のとおりWeb開催というものでした。しかしながら公益事業に関しては、骨密度測定のように現地開催でないと対応できないものがありやむなく中止せざるを得ませんでした。このダメージの大きかった3年間を今後にどう生かしていくべきのでしょうか。私としての一つの見方は、原点回帰という思いです。高谷会長が就任のご挨拶で述べていた「診療放射線技師資格を持つ職能団体として」この原点回帰です。では職能団体の役割は何なのでしょうか。それは自分たちの職種を守るために、社会に対してはその責任を果たすことだと思います。結果として、社会からの信頼が得られ認知度もあがっていくと考えます。会の新たな在り方を模索する必要はありますが、基本的な活動を継続していくことに変わりがありません。今春から新型コロナウイルス感染症は、「2類相当から5類に引き下げる」との報道があります。まさに職能団体のアピールの場である公益事業は、現地開催を中止することなくすすめる環境が整ったと思います。

今後の事業展開としては、会報だけでなくオンラインの活用を見直し多角的に情報を発信していく方向性ですすめます。最後になりましたがより多くの会員の皆様に参加していただけるよう執行部として努力してまいります。今後ともよろしくお願ひいたします。

奈良県診療放射線技師会のホームページでは
今号の鹿苑ニュースをカラー掲載しています。
こちらのQRコードからでもご覧いただけます⇒





告示研修（実技研修）って、どんなことをするの？

2023年2月25日(土)、奈良県立医科大学で開催いたしました第3回診療放射線技師法一部改正に伴う令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修（以下、実技研修）にて、広報として取材させていただきました。「実技研修って、どんなことをするの？」という疑問に答えさせて頂きます。

AM 9:00 座学：動画の視聴

- ▶ 実習を行う前に、動画を視聴して頂きます。
- ▶ 動画の内容は、以下の通りです。
 - ・法令改正により業務が拡大される手技について
 - ・各手技の手順や注意事項
 - ・実習の手順と流れ



法令改正に関する内容

1. 病院等※1以外の場所において業務を行うことができる検査に超音波検査が追加された。
2. 病院等※2以外の場所で医師等の立ち会いなしにエックス線の照射を行うことができる検査に乳がんの集団検診におけるマンモグラフィー検査が追加された。
3. 放射線の人体に対する照射又は画像診断装置を用いた検査に関連する行為が追加された。

※1：医師又は歯科医師
※2：病院又は診療所

静脈留置針による血管確保

京都大学医学部附属病院 看護部



- ▶ 午前の動画で各手技のポイントを留意し、午後からの実習に臨んで頂きます。

その頃、実習会場では、

ファシリテータが会場設営、物品準備など、実習に向けて着々と準備を進めています。



PM 1:30 実習：グループに分かれて実技

- 午後からは、グループに分かれて各手技の実習を行います。
- 各手技のベースで、ファシリテータが説明し、実演します。
- その後、2人1組のペアで実習を行っていく流れです。
- 各手技にファシリテータが担当しており、手技によっては、医師や看護師の講師が指導いたします。
- 手技に対する不明点や疑問点があれば、何でも質問していただき、不安を少しでも無くしていただければと、思っております。



講師・ファシリテータの紹介

①動脈実技

手袋とガウンの着用、ドレープの広げ方、物品の準備（カテテルの受け取り、エア抜き、耐圧造影チューブ接続など）をまず、医師がレクチャーします。その後、ペアに分かれ実習を行います。



②静脈実技

穿刺時の声掛けや確認事項、注意点について、手順に沿って看護師がレクチャーします。穿刺用のファントムを腕に巻き、血液を模した液体を使用するので、リアル感のある実習になります。



③上部実技

鼻腔カテテルから造影剤を注入する手技について、実習を行います。シリンジとの接続、テープ固定、造影剤の注入時の注意点、抜去時のポイントについて、ファシリテータが解説します。



④下部実技

下部消化管検査(CTコロノグラフィ検査含む)時、注入した造影剤、空気を吸引する手技について。カテテルの挿入から固定、抜去、破棄の流れを実習します。声掛け・配慮が重要になります。



⑤静脈(RI)・RI 実技

核医学検査において、静脈路の確保後、放射性医薬品シリンジと接続、生食でフラッシュする手技について実習します。放射性医薬品により汚染するため、非汚染/汚染の区別が必要になります。



⑥静脈(CT・echo・他)

造影 CT 検査時の静脈路確保から造影シリンジ接続、投与における手技について実習します。ここでは特に、患者に対する説明（患者確認、造影剤の注入時、副作用について等）を実習します。



PM 6:00 閉講式

- ▶ 全てのカリキュラムを受講された方に、修了バッヂと参加証明書をお渡しいたします。
- ▶ 参加証明書は参加を証明するものであり、修了を証明するものではありません。
- ▶ 修了証書は後日、送付いたします。



奈良県診療放射線技師会のホームページでは
今号の鹿苑ニュースをカラー掲載しています。
こちらの QR コードからでもご覧いただけます⇒



令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修 開催報告

教育委員会 委員長
錦 一聰

奈良県では「令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修」を2023年2月25日（土）と26日（日）の2日間、奈良県立医科大学で開催いたしました。我々スタッフも2回目のファシリテータとしての実技指導ですが、開催場所の違うこともあり不安はありましたが、無事に開催、指導が行えたことに感銘を覚えました。

広報として、奈良県診療放射線技師会ホームページ及び会誌、奈良県会員へのインフォメーションメール告知を行いました。受講申し込み開始日の1月6日時点で両日の申し込みがほとんど満席となりました。両日合わせて受講者数94名、修了証発行対象者数94名でした。

内容として、造影剤を使用した検査や核医学検査のために静脈路を確保する行為、放射性医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為・核医学検査のために放射性医薬品を注入するための装置を接続して当該装置を操作する行為、動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く。）、動脈に造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為、下部消化管検査（CTコロノグラフィ検査を含む。）のため注入した造影剤及び空気を吸引する行為、上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為に関して午前中は動画視聴、午後から実技研修を行いました。

今回の実技研修を終えて、COVID-19感染拡大の影響もある中、他県からの参加者もおられ、皆様の職務に対する意識の高さに感銘を受けております。皆様の熱意にお応えできるように今後も開催を予定しておりますのでよろしくお願い申し上げます。

今回は、日本診療放射線技師会のホームページに開催の掲載がなかったため今後は日本診療放射線技師会ともさらに連絡を取りあい、広く呼びかけができるようにさせていただきます。

今後も奈良県診療放射線技師会の活動を通じて、会員をはじめとした診療放射線技師の皆様に貢献させていただければ幸いです。

最後になりましたが、本セミナー開催のためにご尽力いただきました教育委員、講師の皆様、JART事務局の皆様に感謝を申し上げ、本実技研修の開催報告とさせて頂きます。





近畿地域診療放射線技師会学術大会に参加して

医療法人 康仁会 西の京病院
潮田 真和

私は今回初めて近畿地域診療放射線技師会学術大会に参加させて頂き、多くのことを学ぶ事ができました。

午前の告示研修では、新人なので静脈路の確保や抜針および止血の行為はまだ早いと思い研修を受けていませんでした。しかし講習を聞いて、医師の負担を減らすためのタスク・シフト/シェアの重要性や専門性を生かせるような業務拡大の重要性が分かりました。自施設でも PET-CT の運用をしており、業務のサポートをしたいと思いすぐに告示研修を受けようと思いました。

次の演題発表では、一般撮影が多い演題発表 A に参加し、一般撮影からロボット PCI まで幅広い発表を聞きました。ポータブルグリッドレス撮影では画質は変わらず約 20% の被ばく線量の低減ができた研究や、患者の体格によって線量を比較した研究など疑問に思っていたことが分かり、大変勉強になりました。

午後は大鐘先生の特別講演、玉置先生の県民公開講座に参加させて頂きました。

大鐘先生は昔、がんの告知がタブーとされてきた中で、懸命にがん治療をされてきた事や、ホスピスで死ぬと言ってこられた患者さんを治療された話など、普段では絶対に聞く事ができない貴重な講演が印象的でした。また、近藤先生が提唱された早期がん、転移のないがんは問題ないという「がんもどき理論」などがんの違った見方などをお話し頂き、がんについての考え方は、人それぞれであるということを知るきっかけになりました。

玉置先生のお話しでは、「医療は体の痛みを取り除けるが心の痛みは取り除けない」という言葉は、胸に深く刺さりました。現在、がん患者さんの治療に携わっているのですが、医療で取り除くことができない心の痛みをどうやって取り除くことが出来るのか、日々考え方行動に移して行きたいと思いました。また、自分の命の限りを見た時に、苦悩をもつスピリチュアルペインという言葉を初めて聞きました。明日は当たり前にくるものだという自身の考えを、がん患者さんに押し付けないように細心の注意をはらい、余計な不安感を与えないように気を付けていきたいです。

本学会に参加し、貴重な研究や講演、講座に診療放射線技師の一員として触れることができたこと、大変嬉しく思います。ありがとうございました。

2022年度レントゲン週間イベント 開催報告

組織委員会 委員長
辻村 恭平

2022年11月3日（木）ミ・ナーラ（奈良市）・1F フードコート特設会場にて「レントゲン週間イベント」を開催いたしました。このイベントは、定款第33条に基づく公益目的事業であり県民の皆様に対する講演会や体験活動等の実施による、知識の普及啓発事業となります。事業内容としては、超音波を使用した骨密度測定と結果説明、パネルを用いた放射線の知識の普及、医療被ばく相談および画像検査紹介を行いました。新型コロナウイルス感染症が完全に収束していない状況下ですので、基本的な感染対策 1マスク 2換気 3消毒 4距離を徹底して行いました。特に骨密度測定の結果説明においては、アクリル板を設置して飛沫感染防止に役立てました。スタッフ一同、昨年の来場者数を上回ることを念頭に当日のティッシュ配布、会場前での声かけを元気よく行いました。結果としては午前中疎らでしたが午後になって盛り返し 59名の方にご来場いただきました。やはり集客には、「骨密度測定」でありなおかつ「無料」というのが大きな効果があると実感しました。

さて現代の医療に目線を移してみると、放射線の利用なくしては成り立たない事実が実感できると思います。その最前線にいるのは、私たち診療放射線技師です。放射線の専門知識を正しくお伝えするミッションを任せていますが会員の皆様、いかがでしょうか。それをアピールできるレントゲン週間は、とても大切なイベントと言えますね。新型コロナ感染症は落ち着きつつありますが、今後の感染状況について油断はできません。それを背景に組織委員会の事業としては、新しい形（Web開催）も推進しておりますが、現地開催には、こだわり続けていきたいと思います。

今後とも奈良県診療放射線技師会へのご支援ご協力よろしくお願いいたします。文末になりましたが、今年も会場をご提供していただきましたミ・ナーラ様、ご協力いただいた組織委員会委員・外部委員の方々、そして当日の要請に応じていただいた理事の方々、関係各位に感謝申し上げます。ありがとうございました。





県民公開講座 開催報告

学術委員会 委員長
細川 倫之

令和5年1月29日（日）の午後2時から樅原市商工経済会館の7階大ホールにて「2022年度（公社）奈良県診療放射線技師会 県民公開講座」が開催されました。今年のテーマは『小児救急』と今迄とは指向を変え、若い世代の県民の方々に参加していただけるテーマを設定しました。若い世代への案内には樅原市こども未来課へ依頼し、樅原市の公立・私立保育園や認定こども園などに通う園児の家庭に案内を配布させていただきました。また、Web配信は実施せず、現地参加のみの開催としましたが新型コロナウイルス感染症を考慮して先着100名の人数制限をしての開催となりました。例年なら県民公開講座終了後に奈良県診療放射線技師会親睦新年会を実施していましたが、未だ新型コロナウイルス感染症の終息が見られないため新年会は開催できず、その影響を考えるとどれだけの方が参加していただけるか不安を抱きながら当日を迎えました。

私は、12時半集合のところ11時半頃会場に到着し、講師控室兼スライドチェック室兼スタッフルームの設営を行い、大ホールの設営を始める頃には理事・学術委員が集合、受付・会場の設営、廊下のタペストリー展示などを急ピッチで進め、概ね設営が完了したころに一般参加の方々が来場してこられました。行政の小笠原先生や奈良県立医科大学小児科学教室教授の野上先生も来場されスライドチェック、講師対応をし、いよいよ開始時間となりました。高谷会長からの開会の辞を頂戴し、技師の立場から近畿大学奈良病院の古川理事より放射線検査時の被ばくについてや、今話題の性腺防護のことなどの講義をしていただきました。行政の立場からは奈良県の小児救急のしくみやお子さんの体調がよくないときに参考になるホームページの紹介、相談できる電話窓口などの情報提供をいただきました。医師の立場からは子供によくある症状やこんな時はどうすれば良いのか、熱中症やけがなどの対応方法などの講演を分かりやすく解説していただきました。その後の質問コーナーでは現役の保育士さんからの質問など大いにディスカッションがされ充実した県民公開講座になったと思います。野上先生からは技師、行政、医師、それぞれの立場からの講演構成で非常に良い構成ですねとお褒めの言葉もいただきました。

参加者数は47名と期待より少くなってしましましたが良い県民公開講座であったと感じています。今後は、ハイブリッド開催や親睦新年会と併用させていただきより多くの方に参加していただけるよう努力していこうと思います。皆様に於きましては是非とも今後の奈良県診療放射線技師会の活動に参加してくださいますよう、よろしくお願ひいたします。





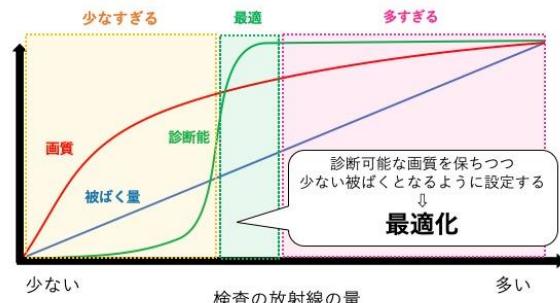
診療放射線技師の立場から

「診療放射線技師が関わる小児の画像検査について」

近畿大学奈良病院
古川 卓也

放射線感受性の高い小児では、より重要な放射線画像検査の正当化・最適化について説明した。最適化では、ただ被ばくを少なくすれば良いのではなく、診断可能な画質を保ちつつ少ない被ばくとなることが重要であり、診療放射線技師が画像検査の最適化に取り組んでいることを知っていた。

①正当化と最適化



小児の画像検査について、各検査の被ばく量や所要時間について説明した。保護者の方の心配の種である被ばくについては、患者様からよくいただく質問を例にして、放射線とは何か、どのような仕組みで身体に影響を及ぼすのかについて解説し、画像検査で用いる放射線の量では身体への影響は確認されていないということを知っていた。

Q 先週もレントゲン検査を受けたけど大丈夫ですか？



放射線が体に
溜まっていくんじゃない？

小児に関する最近の動向として、生殖腺防護に関する情報提供を行なった。従来行っていた行為が絶対的に正しいのではなく、様々な研究等で得られた知見から、行為を正当化するための利益とリスクに関する考え方方が変化し、それに合わせて医療行為も変わっていくことを知つていただくきっかけになればと思う。

生殖腺防護への考え方の変化

利益

遺伝的影響を最小限にできる

リスク

あまりない

- | | |
|--|---|
| ●過度に心配していたのでは?
・遺伝的影響は人では確認されていない | ●骨盤内の情報が失われる
・重要な見落としの可能性 |
| ●撮影線量がすごく減った
・1986年から2018年で1/400に減少 | ●被ばく増加につながる可能性
・再撮影によるもの
・撮影条件の自動調整 |
| ●被ばくは0にはならない | |

2022年度第5回定例理事会議事録

日 時：2023年1月17日(火) 19時08分～20時36分

場 所：奈良県立医科大学 厳檜会館 大ホール

〒634-8522 奈良県橿原市四条町840番地

電話：0744-22-3051（代）

出席理事：高谷英明、池口俊孝、小林勝宏、竹中智士、
野儀明宏、日浦之和、秋山敬純、山田卓実、
辻村恭平(Web出席)、玉井宏征、吉田真大、
高田太輔、錦一聰、古川卓也(Web出席)

出席監事：水野吉将、高嶋敏光

欠席理事：竹中智士

会長挨拶：皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は技師会事業におきましては多大なるご
尽力を頂き、感謝しております。また、創立70
周年記念式典も皆様のご尽力のお陰で無事に
執り行う事ができました。池口俊孝委員長をは
じめ、理事の皆様、実行委員の皆様に感謝申し
上げます。新年を迎ましたが、まだ事業は控
えております。本年も宜しくお願ひ申し上げま
す。最後に、新型コロナウイルス感染症は第8
波のさなかに加え、3年振りのインフルエンザ
の流行も報告されております。皆様におかれま
しては、引き続き感染対策を充分に講じていただき
ますようお願ひ申し上げます。

定数確認（第30条）

出席理事14名、出席監事2名、欠席理事1名

定款30条により、理事会の成立が宣せられた。

議事録作成人ならびに署名人の指名

議 長（第31条）：高谷英明 会長

議 事 錄 作 成 人：竹中智士 常務理事

議事録署名人（第32条）：水野吉将監事、高嶋敏光監事

I. 議案（報告事項）

1. 会長報告

(1) 奈良県関係

① 奈良県臨床検査技師会の後援名義について

(2) 奈良県診療放射線技師会関係

① 次年度事業計画について

定款第33条に基づく2023年度事業計画、収支予
算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて、
皆様の承認を得て県に提出したい。県への提出を円

滑に行うため軽微な変更がある場合は会長・財務理
事一任で変更する事に対して承諾をお願いしたい。

② 第10回（通期第71回）通常総会開催について
5月27日(土) 第10回（通期第71回）通常総会を
奈良県社会福祉センター大会議室において開催す
る。

③ JJ 合同会議の開催

2. 日本診療放射線技師会関係

- ① 近畿地域診療放射線技師会学術大会について
- ② アンケート調査について
- ③ 代議員選挙について
- ④ 令和3年度厚生労働省告示第273号研修（告示
研修）について

【質疑】

高田理事：事業計画書についてですが、いくつか診療の文
字が抜けております。

高谷会長：修正します。

水野監事：事業計画書の放射線フェスタについて、表記が
フェスタとフェスタⅡになっているのはよい
ですか。

高谷会長：今までそのように表記しており、フェスタⅠと
はしていませんでした。

高谷会長：県民公開講座について、開催場所が奈良県橿原
文化会館となっておりますが、他の項目に合わ
せて橿原市に修正します。

【審議事項】

2023年度事業計画及び定款第33条に基づく資金調達及
び設備投資の見込みについて

保留【0】反対【0】賛成【12】

*細川理事が欠席、秋山理事と池口副会長遅刻のため

【他府県からの発行物】

(公社) 日本診療放射線技師会

日本診療放射線技師会誌 2022.12 Vol.69/No.842

日本診療放射線技師会誌 2023.1 Vol.70/No.843

(一社) 北海道放射線技師会 会報 2023年1月

(公社) 福島県診療放射線技師会

福島放技ニュース VOL.190

福島放技ニュース VOL.191

(公社) 東京都診療放射線技師会

東京放射線 2022年12月号 Vol.69 No.811

東京放射線 2023年1月号 Vol.70 No.812



(公社) 神奈川県放射線技師会 かながわ放射線だより	2022年11月27日(日)
KART Vol.75 No.4 Nov.2022 301	第85回日本診療放射線技師会臨時総会 Web参加
(公社) 静岡県放射線技師会	2022年12月3日(土)
SHIZUOKAJOURNAL Vol.32 No.2 2021(通巻215号)	第5回学術委員会 Web参加 2022年12月6日(火)
(公社) 愛知県診療放射線技師会	第4回創立70周年記念式典記念誌作成会議 Web参加
会誌34巻 第2号(通巻170号)	2022年12月8日(火)
(公社) 福岡県診療放射線技師会 会誌 第351号	第4回安全管理委員会 Web参加 2022年12月20日(火)
<近畿地域診療放射線技師会関係>	【小林副会長】
【発行物】	創立70周年記念式典司会打合わせ Web参加
(公社) 京都府放射線技師会	創立70周年記念式典 ホテル日航奈良
京放技ニュース 12/2022 通算751号	2022年11月17日(木)
京放技ニュース 1/2023 通算752号	2022年11月19日(土)
(公社) 大阪府診療放射線技師会 大放技会報 No.347	奈良県診療放射線技師会 学術大会2022
(公社) 兵庫県放射線技師会	橿原市商工経済会館 7階大ホール
HRAT 12 2022.12.1 Vol.82-2	2022年11月27日(日)
<医療関連団体関係>	第85回日本診療放射線技師会臨時総会 Web参加
【発行物】	2022年12月3日(土)
(一社) 奈良県医師会	第4回創立70周年記念式典記念誌作成会議 Web参加
奈良県医師新報 vol.850 November. 2022	2022年12月8日(火)
vol.851 December. 2022	第4回安全管理委員会 Web参加 2022年12月20日(火)
(一社) 奈良県薬剤師会 会誌 第193号	第5回組織委員会 Web参加 2022年12月21日(水)
(公社) 日本歯科技工士会	II. 常設委員会
「日本歯技」12 December 2022 第642号	1. 総務関連事項(竹中智士常務理事)
「日本歯技」1 January 2023 第643号	11月9日から1月8日まで
(公財) 結核予防会	(1) 新入会員2件: 76780、76815
結核・肺疾患予防のための複十字 No.406	(2) 退会3件: 44574、33933、64347
No.407	(3) 転入0件
(一社) 奈良県臨床検査技師会	(4) 転出0件
奈臨技 ニュース No.341 NOV.2022	(5) 異動11件
千代田テクノル FB News 2022 12 No.552	(6) 新規施設登録0件
FB News 2023 1 No.553	(7) 施設情報変更0件
奈良県社会福祉協議会	(8) 賛助会員1件
奈良県福祉だより 2022 No.559	シーメンスヘルスケア株式会社 担当者変更
3. 副会長の活動報告	(9) 慶事・弔事2件
【池口副会長】	・慶事1件
創立70周年記念式典司会打合わせ Web参加	・弔事1件
2022年11月17日(木)	(10) 会員数
創立70周年記念式典 ホテル日航奈良	(公社) 奈良県診療放射線技師会正会員 446名
2022年11月19日(土)	奈良県のみ2名含む
奈良県診療放射線技師会 学術大会2022	(11月8日 第4回定期理事会報告時 447名)
橿原市商工経済会館 7階大ホール	備考: 公益社団法人日本診療放射線技師会関連

奈良県会員 444名 仮会員0名 (1月8日現在)

(11)イベント・カウント申請、完了

① 申請

12月1日 奈良 CT Conference

12月 Web 特別記念講演会(12/3)

12月16日 令和4年度 漏洩線量測定講習会(1/21)

2022年度(公社)奈良県診療放射線技師会

県民公開講座(1/29)

12月27日 告示研修(実技研修)

奈良県 2023/2/25 (2/25)

奈良県 2023/2/26 (2/26)

② 完了

12月1日 公益社団法人奈良県診療放射線技師会
学術大会 2022 (11/27)

12月9日 奈良 CT Conference

12月 Web 特別記念講演会(12/3)

(12)その他

【質疑】なし 【審議事項】なし

2. 財務関連事項(山田卓実財務委員長)

(1) 中間報告

2022年度 1月 1日 現在 会計中間報告									
科目	公益目的事業会計								
	公 1		公 2		公 3				
県民に対する講習会、知識の普及啓発事業		研究開発及び指導、執筆者等の活動を支援		図書刊行物の販売及びホームページにおける					
経常費用	予算額	支出額	予算執行率	予算額	支出額	予算執行率	予算額	支出額	
会議費	100,000	170,500	171%	100,000	123,667	124%	0	0	
旅費・交通費	100,000	9,660	10%	100,000	0	0%	0	0	
通信運搬費	100,000	14,020	14%	100,000	0	0%	150,000	212,215	141%
消耗品費	50,000	14,995	30%	60,000	0	0%	117,430		
印刷製本費	150,000	0	0%	150,000	0	0%	800,000	556,500	70%
賞賛料	0	0	####	0	0	0%	0	0	
謝謝金	300,000	0	0%	400,000	0	0%	0	0	
支払手数料	0	0	####	0	0	####	50,000	2,225	4%
会議費	0	0	####	0	0	0%	0	0	
福利厚生費	0	0	####	0	0	0%	0	0	
研究助成費	0	0	0	0	0	0%	0	0	
雑費	0	0	####	0	0	####	0	0	
その他事業会計									
科目	地 1		地 2		地 3				
	日教材及び広報誌等の販売会との連携による学術大会		研究会・勉強会への助成事業及び海外研修生の受入れ事業		会員に対する福利厚生事業				
経常費用	予算額	支出額	予算執行率	予算額	支出額	予算執行率	予算額	支出額	予算執行率
会議費	0	0	0	0	0	0%	0	0	0%
旅費・交通費	0	0	0	0	0	0%	0	0	0%
通信運搬費	0	0	0	0	0	0%	0	0	0%
消耗品費	0	0	0	0	0	0%	0	0	0%
印刷製本費	0	0	0	0	0	0%	0	0	0%
賞賛料	0	0	0	0	0	0%	0	0	0%
謝謝金	0	0	0	0	0	0%	0	0	0%
支払手数料	0	0	0	0	0	0%	0	0	0%
会議費	0	0	0	0	0	0%	0	0	0%
福利厚生費	0	0	0	0	0	0%	0	0	0%
研究助成費	0	0	0	0	0	0%	0	0	0%
雑費	0	37,494	0	0	0	0%	0	0	0%

科目	法人会計		予算執行率
	予算額	支出額	
管理費	50,000	0	0%
総会費	150,000	81,420	54%
通信運搬費	100,000	92,885	93%
消耗品費	100,000	10,721	11%
印刷製本費	100,000	195,000	195%
支払手数料	100,000	3,870	4%
雑費	200,000	826,085	413%

【質疑】なし 【審議事項】なし

3. 学術関連事項(細川倫之学術委員長)

(1) 奈良県診療放射線技師会 学術大会 2022について

① 開催報告

イベント開催報告書			公益社団法人奈良県診療放射線技師会
委員会	学術	イベント名	奈良県診療放射線技師会学術大会2022
報告者	細川倫之	日時	令和4年11月27日 13:00~17:30
		場所	橿原市商工経済会館
プログラム・内容:			
・会員研究発表 ・教育講演 「眼の水晶体の被ばく限度の見直し」等に関することについて 厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課 電離放射線 労働者健康対策室 健康医学専門官 成澤 宇先生			
・シンポジウム 1部「当院におけるDRGsを活用した術者被ばく低減に取り組み 市立奈良病院 秋山 敏純 2部「一般撮影の術者被ばくを考える」 高井病院 土井 司			
3部「患者被ばく:小児の性防護」 田北病院 小林 勝宏			
4部「患者被ばく:DRGsを踏まえて」 天理よろづ相談所病院 宮西 忠史			
コメント: 配信会社に依頼せず、自分たちのみでZoomのウェビナーを使用。本格的なハイブリッド開催を実施した。大きなトラブルはなく、無事最後まで開催することができたことは大きな自信となった。			

決算 :

収入	科 目	本年度予算	本年度決算
		参加費	
		10,000	2,198
	事業対策費	222,679	201,106
	計	232,679	203,304
支出	会場費 会場使用料・会場備品費	92,977	92,977
	Web 開催費用	22,880	21,400
	講師謝金(座長、シンボジスト)	26,000	26,110
	交通費(理事・学術委員)	20,000	11,780
	会議費(予行演習会議)	30,690	30,690
	印刷費(ポスター・垂れ幕)	12,132	4,632
	通信費	0	0
	雑費	28,000	15,715
	計	232,679	203,304

収支差額 : ¥0

② 反省点

- ア Web 視聴者の参加時の名前がアルファベット一文字など、誰が参加しているか分からず状況が発生した。 → ウェビナーの登録必須機能を使用すると解決可。今回参加確認が取れていない方全員に参加したかの確認メールを送り対応した。
- イ 参加証、次演者貼紙、演者・座長用時計、マイクの数、PCの数など準備不足あり。
- ウ 106名の参加で会員全体の1/4であった。今後開催曜日やオンデマンド配信などを考慮し、多くの会員に参加していただける学術大会を目指したい。

(2) 県民公開講座について

開催日時: 2023年1月29日(日) 14:00~17:00

開催場所: 橿原市商工経済会館 7階大ホール

テーマ: 「小児救急」

講師構成:

【診療放射線技師の立場から】

近畿大学奈良病院放射線部 古川 卓也

【行政の立場から】

奈良県福祉医療部医療政策局地域医療連携課



小笠原 萌 先生

【医師の立場から】

奈良県立医科大学 小児科学教室

教授 野上 恵嗣 先生

プログラム：別途資料参照

予算案：

	科 目	2019 年度決 算	本年度予算
収入	参加費	—	—
	事業対策費	304,106	276,472
	計	304,106	281,794
支出	会場費 会場使用料	46,310	85,800
	文化会館・宏陽舞台 会場備品費	94,260	14,850
	展示パネル	30,000	
	謝金（講師・座長）	48,000	61,000
	交通費（理事、学術委員）	8,160	10,000
	昼食費（理事15名、学術委員6名）	16,827	21,000
	印刷費	28,020	59,144
	通信費	15,204	20,000
	雑費	885	10,000
	計	304,106	281,794

会場費内訳			
大ホール（13時～17時、日祝2割増）	55,000×1.2	66,000	
17時以降延長1時間×日祝2割増	16,500×1.2	19,800	
計		85,800	
会場備品内訳			
有線マイク2本	1,100×2	2,200	
無線マイク3本	1,100×3	3,300	
音響設備		2,200	
プロジェクター		6,050	
スクリーン（230インチ）		1,100	
計		14,850	
講師謝金内訳			
講師・座長（交通費込み）	50,000×1	5,000×1 座長 3,000×2	61,000
計		61,000	
大会当日交通費内訳			
理事・学術委員		10,000	
計		10,000	
昼食費内訳			
理事（15名）・学術委員（6名）	1,000×21	21,000	
計		21,000	
印刷費内訳			
ポスター 4,000枚		10,644	
抄録集		35,000	
名札		2,500	
看板・垂れ幕		11,000	
計		59,144	
通信費内訳			
ポスター郵送費		20,000	
計		20,000	
雑費内訳			
お茶・水		1,000	
当日出費（文具、駐車場代等）		9,000	
計		10,000	

(3) 2023 年度 奈ラーニングについて

開催日時：未定

開催場所：未定

テーマ：学術委員で選考中

【質疑】なし

【審議事項】

2022 年度（公社）奈良県診療放射線技師会県民公開講座

予算案について 保留【0】反対【0】賛成【12】

*細川理事が欠席、古川理事が離席、池口副会長遅刻

4. 教育関連事項（錦一聰教育委員長）

(1) 日本診療放射線技師会関係

① 告示研修（実技研修）

奈良県 2023.02.25 日/26 日(3・4回目開催)

開催場所：奈良県立医科大学

開催日時：

2022 年 2 月 25 日（土） 9:00～18:00(3 回目)

2022 年 2 月 26 日（日） 9:00～18:00(4 回目)

定 員：48 名(計：96 名)

募集期間：

2023 年 1 月 13 日(金)～2023 年 2 月 10 日(金)*両日

広 報：会員へのインフォメーションメール済

ホームページ掲載済

予算案：

	科 目	奈良県 2022.02.25 (3回目) 予算	奈良県 2022.02.26 (4回目) 予算
収入	事業対策費	28,000	28,000
	講師料（JART）	184,000	184,000
	会場費・設備使用料（JART）	0	0
	計	202,000	202,000
支出	講師料（JART）	184,000	184,000
	雑費（奈良県）	11,000	11,000
	講師料（奈良県）	17,000	17,000
	会場費・設備使用料（JART）	0	0
	計	202,000	202,000
収支		0	0

* 雜費内訳：弁当・お茶（講師・スタッフ）

本来は JART 請求になるが、経理関係手続上 3 月の返金に間に合わないため

* 講師料：開催責任者及びスタッフ分の補填(ファシリテータ講習受講済)

ファシリテータ：前回同様の担当者とする。

役割に一部変更あり。

静脈 : 山田卓実

静脈その他 : 小林勝宏

静脈 RI : 池口俊孝

上部消化管 : 吉田真大

下部消化管 : 高谷英明

動脈 : 野儀明宏

開催責任者 : 錦一聰

スタッフ : 日浦之和

② 近畿地域教育委員会

12/4 R4 年度教育委員幹事会議

* 来年度の告示研修開催要項に変更あり

(2) 奈良県診療放射線技師会関係



①漏洩線量測定講習会

開催場所：(公財)天理よろづ相談所病院 外来棟

放射線部 4F、講堂 5F

開催日時：2023年01月21日(土) 14:00～16:00

定 員：20名

募集期間：2022年11月下旬～

定員に達したら HP で締切を伝達

広 報：会員へのインフォメーションメール済

ホームページ掲載済

講 師：講義 酒井昭宏 (千代田テクノル)

実技 高谷英明・旭 合力 (国保中央病院)

予 算 案：

	科目	2018年度決算	2022年度予算
収入	事業対策費	20,700	12,180
支出	講師謝金	20,000	10,000
	スタッフ交通費	700	2,180
収支		0	0

【質疑】

日浦理事：告示研修について、統一講習会未受講者が一週間申し込めないことへの措置はどうなっていますか。いつまで経っても申し込めないのですが。

高谷会長：まだ何も進捗がありません。来月の近畿の会長副会長会議で確認してみます。

日浦理事：前回はシステム上難しく調整中であるとことでしたら、現場でのタスクシフトシェアがなかなか進みません。

【審議事項】 なし

5. 広報関連事項（高田太輔広報委員長）

(1) 鹿苑ニュース No.287 発行

1月10日入稿 1月17日頃 発送予定

(2) 技師長会議の案内（県内77施設）作成・発送

(3) 県民公開講座の案内（個人193通、県内77施設）作成・発送

(4) 鹿苑ニュース No.288 発行準備：3月発行予定
卷頭言、イベント開催案内など（締切：2月末）

(5) ホームページ関連（秋山敬純委員長）

2022年12月1日

漏洩線量測定講習会 開催のお知らせ

2022年12月14日

県民公開講座 開催のお知らせ

2022年12月24日

第25回 近畿救急撮影セミナーのご案内

2022年12月30日

技師法改正に伴う告示研修（実技研修）ご案内

2023年1月8日

近畿地域診療放射線技師会学術大会「働き方改革」

パネルディスカッション質問募集 ご案内

2023年1月13日

退会のご案内

以上掲載しました。(1月15日現在)

【質疑】

高谷会長：県民公開講座のダイレクトメール停止依頼がきておりましたので、ご対応お願いします。

また、インフォメールに関してもアドレス不明のものがありますので、何か対策を考えいただきますようお願いします。

【審議事項】 なし

6. 福利厚生関連事項（玉井宏征福利厚生委員長）

(1) 2022年度厚生事業について

①第69回近畿地域診療放射線技師会野球大会（和歌山県）

日 時：2022年11月23日（木曜日：祝日）

場 所：貴志川スポーツ公園 野球場

（紀の川市貴志川町井ノ口 1411-10）

雨天のため中止

(2) 新年情報交換会について

コロナ感染の状況により中止とする。

【質疑】 なし 【審議事項】 なし

6. 安全管理関連事項（吉田真大安全管理委員長）

(1) 医療安全（主担当：池口副会長）

① 医療安全ネットワーク会議

11/22(火)「コロナ陽性患者が一般病棟に入院した事例」

について開催（参加者1名）

12/21(火)「非常用通路からの離棟事例」について開催（参加者なし）

② 医療安全をテーマにした研修会を行う

ア CT造影検査の際の血管外漏出について

イ MRI検査時の医療安全について

（金属類の持ち込みなど）

(2) 原子力災害時対応（主担当：小林副会長）

① 原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会について

2023年3月4日に開催予定

案内は1月の鹿苑ニュースで掲載



予算案：

日時：2023年3月4日（土） 14:00～16:00 受付13:30～
場所：奈良県立医科大学附属病院 臨床研修センター 1階カンファレンス室

	科目	2020年度予算	2020年度決算	本年度予算	備考
収入	事業対策費	¥55,000	¥34,840	¥40,000	
	参加費	¥10,000	¥0	¥5,000	
	計	¥65,000	¥34,840	¥45,000	
支出	会場費	¥0	¥6,720	¥0	
	旅費交通費（スタッフ）	¥5,000	¥520	¥3,000	
	通信運搬費	¥0	¥0	¥0	
	消耗品費（材料費）線源	¥10,000	¥0	¥10,000	
	タイベックスーツ	¥40,000	¥15,600	¥20,000	
	諸謝金（講師料）	¥10,000	¥12,000	¥12,000	
計		¥65,000	¥34,840	¥45,000	

(3) 災害対策・対応（主担当：葛和外部委員）

- ① 既存の JART マニュアルに沿って奈良モデル（奈放技版 DCP）を作成していく
進捗なし

(4) その他

① 広報活動

安全委員会だより Vol.7（マネジメント学会広報）を鹿苑ニュースに掲載

- ② 被ばくガイドブックのアップデートについて
ガイドブックをアップデートさせるためにまずは、内容を確認し、どのくらい変更点や改定する内容があるかピックアップしてみる。ピックアップするにしてもどういうところ重点的に確認するか検討していく。

【質疑】なし

【審議事項】

令和 4 年度 原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会の予算案について 保留【0】反対【0】賛成【13】

*細川理事欠席、池口副会長遅刻のため

7. 組織関連事項（辻村恭平組織委員長）

(1) 公式ラインを使用した広報活動について

- ①公式ラインの原案を作成済み（高田委員担当）。
組織委員には、試用を配信。
②料金体系の変更あり（無料メッセージ数 1,000→200）
③今年度中に高田理事を中心に運用案をまとめます。

(2) 技師長会議の現状報告

- ①11 月下旬に各施設宛てに郵送。
②Web での回答を第 5 回組織委員会で確認した。（12 月末日締切）回答を精査して組織委員で、集約して次年度、会議開催に向けてすすめる方向。

(3) 奈放技の標記変更に伴うタペストリー修正について

- ①当初、今年度中に修正し、更新したタペストリーを完成させる予定

②今年度予算の都合上タペストリーの更新は次年度以降になる。

③ポスター作成委員会を行う場合、「現地集合形式で開催したい」と山口委員から要望あり。新型コロナの感染状況を見て判断する。

のぼり決算書：

	科 目	本年度予算	本年度決算
収入		—	—
	事業対策費	51,700	52,145
	計	51,700	52,145
支出	会場費	0	0
	賃借料	0	0
	講師謝金	0	0
	旅費交通費	0	0
	消耗品費	0	0
	データ作成費	22,000	22,000
	印刷製本費	29,700	29,700
	通信費	0	0
	雑費	0	0
	振込手数料		445
	計	51,700	52,145

【質疑】

高谷会長：タペストリーの変更時期についてはいつになりますか。

辻村理事：8 月くらいです。

秋山理事：タペストリーについてですが、来年度変更になるとそのあとまたすぐに変更になる可能性がありますので、時期についてはよく検討する必要があります。

高谷会長：様々な検討事項があると思います。

日浦理事：ラインの公式アカウントについてですが、200 通だとすぐになくなってしまいます。そうなれば、料金プランを上げて対応するのでしょうか。

高田理事：運用が決まればそうなるかもしれません、今は足踏みをしています。組織事業等イベントはインフォメールで事足りている状況で、ラインを月 5000 円程度で使用するほどの価値があるのか、私も検討中です。

高谷会長：ラインはメールよりも手軽に情報が取れるメリットがあります。しかし、費用に見合うかどうか、運用方法含め検討が必要です。

【審議事項】なし

III. 特別委員会

1. 創立 70 周年記念事業

開催日時：2022 年 11 月 19 日（土）14:00～17:30



テーマ：「たゆまぬ進化、さらなる真価」

場所：ホテル日航奈良4階 飛天の間

・参加者数

創立70周年記念式典			運営	
	出席者数	芳名帳記帳数	当会監事	2
来賓	31	27	当会理事	13
表彰	13	7	当日実行委員	20
賛助	10	10	司会（ホテル）	1
会員	10	9	合計B	36
一般	10	10		
合計A	74	63	総計(A+B-7)	103
* 表彰 10名の内、当会監事1名、理事4名、当日実行委員1名				
* 会員 10名の内、当日実行委員1名				

・祝電 16通（内、台湾4通）

・祝花 5基（内、台湾4基）

イベント開催報告書			公益社団法人奈良県診療放射線技師会	
委員会	教育委員会	イベント名	創立70周年記念式典	会員(無料)
報告者	池口 俊孝	日時	2022年11月19日 14:00~17:30	62名
			日航ホテル奈良 飛天の間	非会員(￥0)・一般市民 41名 ポスター・チラシ・写真等掲載欄
プログラム・内容:				
14:00~15:00 一般公開講座 「酒の神が鎮まる地 奈良県三輪の歴史とみむら杉の酒造り」 今西酒造株式会社 十四代蔵主 今西 将之				
15:20~15:50 特別講演 「診療放射線技師の将来と役割」 公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長 上田 充彦氏				
16:00~17:00 記念式典 来賓挨拶・来賓紹介 表彰式 医療業務等功労者知事表彰・会長功労表彰・在籍20年表彰 特別功労感謝状・感謝状				
コメント: 一般公開講座は、一般の方もご入場いただき、今西氏にご講演いただいた。 特別講演はJART上田会長にビデオメッセージでご講演いただいた。 知事、代表士けいじ、多くご来賓の方のご出席を賜り、出席者合計103名 の皆様と共に盛大にお祝いすることができた。				

【質疑】なし 【審議事項】なし

2. 事務所移転に関する検討委員会 報告事項なし

IV. 常置委員会

1. 定款改正委員会（水野吉将委員長）

会費納入規定の見直しの為、委員会開催予定

2. 表彰委員会（小林勝宏委員長） 報告事項なし

3. 海外交流委員長（池口俊孝委員長） 報告事項なし

4. その他 なし

V. 審議事項まとめ

2023年度事業計画及び定款第33条に基づく資金調達及び設備投資の見込みについて

保留【0】反対【0】賛成【12】

*細川理事が欠席、秋山理事と池口副会長遅刻のため

2022年度（公社）奈良県診療放射線技師会県民公開講座予算案について 保留【0】反対【0】賛成【12】

*細川理事が欠席、古川理事が離席、池口副会長遅刻

令和4年度 原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会の予算案について

保留【0】反対【0】賛成【13】

*細川理事欠席、池口副会長遅刻のため

VI. 経過事項

奈良県診療放射線技師会学術大会 2022 予行演習

11月17日(木)

創立70周年記念式典

11月19日(土)

奈良県診療放射線技師会学術大会 2022

11月27日(日)

第85回日本診療放射線技師会臨時総会

Web開催

12月3日(土)

第5回学術委員会 Web参加

12月6日(火)

第4回創立70周年記念式典記念誌作成会議

Web開催 12月8日(火)

第4回安全管理委員会 Web開催

12月20日(火)

第5回組織委員会 Web開催

12月21日(水)

第3回JJ合同会議 Web開催

1月15日(日)

VII. 今後の予定

漏洩線量測定講習会 (公財)天理よろづ相談所病院

外来棟 放射線部 4F、講堂 5F 1月21日(土)

県民公開講座「小児救急」

1月29日(日)

令和4年度第2回近畿地域診療放射線技師会

会長・副会長会議 ピアザ淡海 305会議室 2月11日(土)

令和4年度近畿地域診療放射線技師会学術大会

ピアザ淡海 2月12日(日)

診療放射線技師法一部改正に伴う令和3年厚生労働省告示 第273号研修における実技研修

2月25日(土)・26日(日)

原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会について

3月4日(土)

VIII. 次回理事会について

2022年度 第6回定例理事会

2023年3月14日(火) 19時00分～

場所：奈良県立医科大学 厳檜会館 大ホール

※尚、COVID-19の影響によりWeb開催の可能性もある

以上

この議事が正確であることを証するために議長及び議事録署名人は記名捺印する。

2023年1月17日(火)

議長 会長（代表理事） 高谷 英明 印

議事録署名人 水野 吉将 印

高嶋 敏光 印

奈良県橿原市兵部町2番9号フレガビル4F

公益社団法人 奈良県診療放射線技師会